

薬物血中濃度測定機器間の測定結果の相関性に関する検討

1. 研究の対象

秋田大学医学部附属病院において、2019年1月1日～2024年7月12日の期間に血中濃度測定依頼があった患者

対象薬剤：カルバマゼピン、フェニトイン、ポリコナゾール、ラモトリギン、ミコフェノール酸、リネゾリド、ダプトマイシン、バンコマイシン、イマチニブ、クロザピン、ボサコナゾール、レベチラセタム、アシミニブ、カボザンチニブ、テイコプラニン、アミカシン、フルコナゾールを服用された患者で、採血によって血液中の薬物濃度の測定が行われた方

2. 研究目的・方法

上記薬剤の血液中濃度は、免疫学的分析システム(ARCHITECT®システム；CLIA法、Cobas®システム；ECLIA法、CA-90®システム；ラテックス凝集法)、及び当院で開発され特許取得されているHPLC法のいずれか方法を用いて測定されています。本研究の目的は、これらの機器によって得られた検査結果と、今回新たに日立ハイテクサイエンスで開発された高速液体クロマトグラフィーシステムで得られた測定結果を比較し、差がないかを検証します。

研究期間は、研究実施許可日～2028年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

血中濃度測定は日常診療の範囲内で実施される検査の残血を用いて実施されます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：秋田大学大学院医学系研究科 薬物動態学講座 三浦 昌朋

〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2

TEL 018-834-1111(代)